

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 21 年 7 月 1 日 提出]

No.	66	実施済み						
基本方針	3 事務事業の整理合理化等					担当課名	総務課(行政班)	
重点項目	4 各種会議の活用							
取組項目	57 各種会議の活用による事務の迅速化							
経過・現状 (H17.4.1現在)	・各課への重要事項の連絡・調整等については、必要に応じてその都度課長会議を開催し情報の共有化を図っているが、各月開催までは至っていない。 ・事務事業の整理合理化のための会議開催は行われていない。							
推進スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 18 年度	
	検討	実施	-	-	-			
実績評価	A	A	-	-	-	達成年次	平成 18 年度	
	計画どおり	計画どおり	-	-	-			
行動概要	目標	定期的な課長補佐会議等の開催						
	期待される効果	既に実施されている課長会議だけでなく、課長補佐会議等を実施することで事務事業の見直し及び情報の共有化が進み事務の迅速化が図られる。						
	必要性問題点	より良い行政サービスを住民に提供するためには、事務事業について積極的な意見交換による内容の見直しを行い、事務の迅速化を図って行く必要がある。						
	対象	総務課						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)	
		17年度 (実績)	課長補佐会議等の位置づけ及び方向性について検討。				目標数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
		18年度 (実績)	定期的に課長会議がおこなわれるようになり、情報の共有化及び意見交換が容易に図られるようになった。 課長補佐会議を設置し、組織及び機構改革について定期的に会議を開催した。				目標数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
		19年度 (実績)	組織機構の見直しについて副町長から諮問を受け課長補佐会議において協議した。(4回実施、答申を提出)				目標数値	
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
	20年度 (実績)	課長会議を14回実施。 事務事業の整理・合理化については、公共施設見直し計画を策定後に着手する。				目標数値		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
	21年度	事務事業・業務見直しワーキング会議を実施。				目標数値		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
関係例規等	名称					改正時期		